



第352号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



心に寄り添う

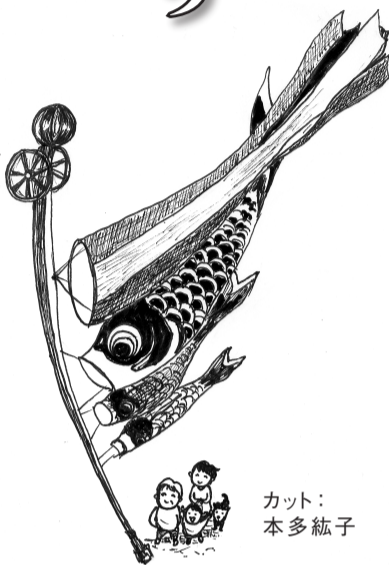
新緑が目にしみる好季節、お寺の庭にも牡丹の大輪の花が風に揺られ、爽やかさを満喫しています。皆様、如何お過ごしでしょうか。

4月21日、心光寺の春の永代経法要も午前中のピアノ・チェロ・マリンバ演奏と歌唱で盛り上がり、午後からの法要儀式・仏教講演と続き、皆様のお陰で盛大に催すことが出来、大変感謝しています。

4月1日には新しい元号が決まり、5月1日からは『令和元年』となりましたが、愚僧は団塊の世代ですから『昭和』『平成』『令和』という三つの元号の時代を生きているという幸せを味わっています。

『令和』は元号として248番目になるそうです。「令」の字が使われるのは初めてで、「和」は20回目です。出典は奈良時代に完成した日本に現存する最古の歌集『万葉集』を典拠とし、中国古典でなく国書から採用したのは確認できる限り、初めてということなのです。

『万葉集』は20巻からなり、約350年間にわたって詠まれた約4500首を集めています。額田王、柿本人麻呂、山上憶良ら代表的な歌人のほか、天皇から防人、無名の農民に至るまで幅広い歌人が含まれ、地方の歌も多くあります。引用したのは、歌人・大伴旅人が九州の太宰府長官時代に宴会を開いたときにつくった、梅の花の歌の序文



カット：本多紘子

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

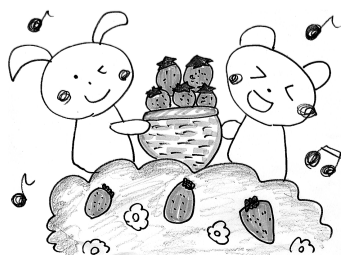
で「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」(書き下し文)です。現代語訳では、中西進先生が「時あたかも新春の好き月、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉の如く白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている」と訳されています。

安倍総理も記者会見で「厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいとの願いを込めた」と述べられています。愚僧も「令和」の時代に生まれてくる子供たちが、心の和を大切にしながら平和を享受していつて欲しいと願うばかりです。すべての子供たちがぐっすり眠れて、安心して暮らせる国こそ、和の国ですね。今の日本はイジメや親による虐待、また子供の貧困の問題もあり、心に寄り添う時代になって欲しいな。国土交通副大臣が、道路事業で総理らの意向を付度したと公然と発言したり、五輪復興大臣が石巻市の選挙応援で議員を大震災の復興以上に大事などと発言し辞任しましたが、心が冷めてしまいました。

4月9日、財務省は5年後の2024年度上期から1万円札と5千円札、千円札の紙幣(日本銀行券)を全面的に刷新すると、突然の発表で驚いています。表面の肖像画は、1万円札が日本の資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一。5千円札は津田塾大学を創設し女性教育の先駆者の津田梅子。千円札が血清療法を確立した北里柴三郎です。紙幣の裏面も1万円札は東京駅の丸の内駅舎、5千円札は藤の花、千円札は葛飾北斎の富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」が採用されます。

紙幣の一新は20年ぶりですが、財務省は偽造防止の観点から20年ごとに、変えてきています。新しいお札は3次元の画像が角度を変えると回転して見える最新鋭のホログラムを備えるなど偽造対策を強化しています。だが、どんなに偽造防止しても、技術発展により必ず偽造を試みる人がでるのは愚かです。合掌(奥原曇龍)

『令和の世心の和こそ大切に 人が寄り添う時代をつくらう』 どんりゅう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・五月十五日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
六月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり ③1

お釈迦様は三十五歳のとき、尼連禪河のほとりのウルヴェーラー村(後のブツダガヤ)で覺りを開かれましたが、説法(転法輪)を人々に説くべきか迷われています。それは覺りの内容があまりにも難解で、人々が理解できず、混乱すると思われたからです。

しかし、覺りとは自分一人の中で完成するものではなく、他に伝え、他の人を救済することであることが完成します。自らの苦惱の救済から万人の苦惱の救済へと説法を決心されたお釈迦様は、かつて一緒に修行した五人の旧友を思い浮かべ、彼らに会うためにペナレス郊外のサールナートにある鹿野苑まで長い道のりを歩いていきます。

ペナレスに向かう途中、ウパカという修行者に出会い、お釈迦様の姿が尊いのを見て「あなたの師は誰ですか。あなたは誰の教えを信じているのですか」と尋ねますが、お釈迦様は「私は一切に打ち勝った者、一切を知る者です。自ら知ったので、師匠は存在しません」と答えます。するとウパカは理解できずに首をふって去っていききました。

インドでは師の伝承を大切にしますので、師匠のいないお釈迦様は受け入れ難かったのです。ウパカは最初の弟子になる機会を失ったとも言えます。逆の見方をすれば、お釈迦様は最初の説法に失敗したのです。

鹿野苑に、お釈迦様がやって来るのを見た五人の旧友たちは、苦行を捨て努め励むのをやめて墮落した、お釈迦様を迎えられないように約束しました。しかし、お釈迦様が近づくと従って、彼らはジツとしていたことが出来ず、あるものは座席を整え、ある者は足を洗う水を準備しました。

不信心を抱いていた五比丘たちも、お釈迦様の自信と慈愛に満ちた説法に次第に耳を傾け、ついに最初の弟子となります。最初の説法を初転法輪と呼びます。合掌(奥原曇龍)

風薫り寺の御堂に経響く 亡き父母照らす故郷のともしび 田辺多恵子



春の永代経法要前の本堂仏具みがき

ともしび法話

風薫る五月、皆様お元気ですか。心光寺の春の永代経法要も、総代・世話人さんのお陰で無事に勤められ感謝しています。

お寺の庭に笛吹水仙や芝桜が咲き、参拝者の心をなごませ嬉しかったです。若者にも気楽にお参り出来る寺を頑張りたいな。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

四月二十一日の春の法要では、午前中にピアノとチェロによる松本夫妻の演奏や、柚木さんのマリンバ演奏と井上さんのソプラノ歌唱に感動し、午後からの永代経法要や仏教講演にも心が和みました。

倉敷市西中新田 古谷 洋子
 法要日牡丹の大輪頭下げ
 ようこそようこそと迎える本堂
 暖かき春の一日寺詣り
 老いも若きも生と死見つめる
 倉敷市中島 山田 孝治

忙しいからハカマをとったら炊いてやる
 と母も妻も同じことを言った気がする...
 味はほろ苦かった。ツクシの思い出。
 総社市中原 上田 高美

ともしび説法

日時・五月十五日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
 六月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
 場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
 電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

七月 十一日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
 八月 二十日(火)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。
 九月 五日(木)・午前十時から午後十二時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
 ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
 会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



こころの詩

風薫り若葉がみずみずしい
 楽(らく)天(てん)家をめざしながらも
 理性(りせい)の光(ひかり)で我が心を照らす
 ルーズな生活(くらし)に溺(おぼ)れがちだから
 冷静(れいせい)に自分(みづか)を見つめるのだ
 ロマン(roman)を心(こころ)の中に秘(ひ)めて
 鯉(こい)のぼりが大空(おおぞら)を泳(およ)ぶように



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。
 お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「352号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村健